

ヨコレイ NOTE...VOL.6

第64期中間報告書(平成22年10月1日~平成23年3月31日)



ごあいさつ _____ P1
営業の概況・事業別の概況 _____ P2

特集

「欧州シーフード・エキスポ」

海外ネットワークを活用した販路の拡大を目指し、
世界最大規模のシーフード・イベントに出展しました _____ P3

【ヨコレイくんが行く! 『頑張るヨコレイVOL.6』】

通関って、
どんな仕事をするのかな? _____ P4

中間連結財務諸表(要約)・株式の状況 _____ P5
ネットワーク・会社概要・役員及び執行役員 _____ P6



証券コード：2874

「人」に「もの」に 「地球」に“優しい” 食品流通のエキスパート



食品販売事業

食材を中心に、お客さまからお預かりした貨物を最適な条件下で保管し、先進の物流・情報システムにより、ジャスト・イン・タイム物流の一翼を担っています。

国内外の様々な食材を手掛け、輸出入を含む仕入から販売までを一貫して行うことにより、信頼性の高い食の供給に貢献しています。

ごあいさつ

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

また、このたび「東日本大震災」により被災された皆さまに謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

第64期中間期の日本経済は、緩やかな回復を見せておりましたが、デフレ基調の持続など景気の下振れリスクが存在する不安定な経済状況に加え、東日本大震災が発生するなど厳しい経営環境で推移しました。

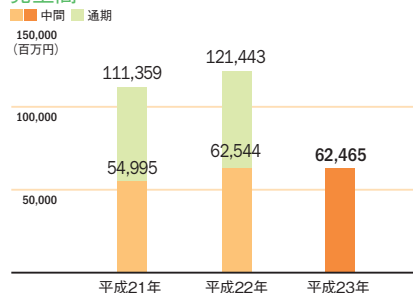
このような状況のなか、当社グループは平成20年11月に発表した第三次中期経営計画（3ヵ年）の最終年度を迎え、冷蔵倉庫事業では「多彩な物流サービスの積極展開による安定収益の確保」、食品販売事業では「原料サプライヤーとしての機能向上による事業規模の拡大と収益力の向上」に取り組んでまいりました。

その結果、前年同期と比べ、営業利益・経常利益は増加しましたが、震災の被害による特別損失を計上したことにより中間純利益は減少いたしました。

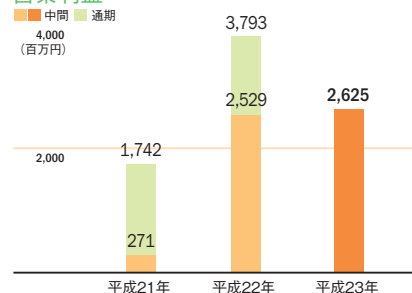
景気の先行きは、震災の影響により不透明な状況にあります。本中期経営計画の最終年度の目標達成に向けて当社グループ一丸となって取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

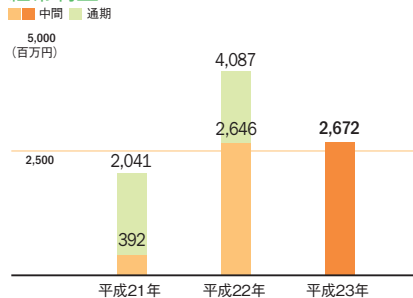
売上高



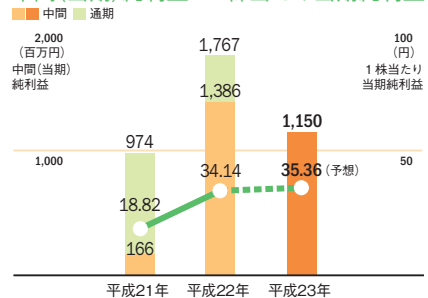
営業利益



経常利益



中間(当期)純利益・1株当たり当期純利益



代表取締役社長
吉川俊雄

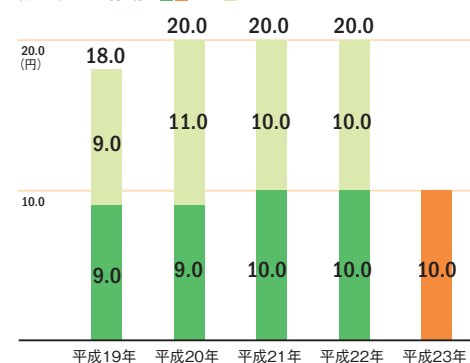
株主還元について

当社では、株主の皆さまに対する利益還元を重要な経営課題の1つとして認識し、配当性向40%以上の維持を目標とした安定配当の実現を基本方針としています。

当中間期の配当金は、この方針に基づき、1株当たり10円とさせていただきます。

(注) 平成20年の期末配当額には、創立60周年記念配当2円を含んでおります。

配当金の推移



営業の概況

当中間期の概況

当中間期における食品関連業界は、厳しい雇用・所得環境が続くなか、消費者の節約志向・低価格志向が依然として継続していることもあり、個人消費は低水準で推移する厳しい事業展開となりました。

このような状況のもと当社グループは、第三次中期経営計画の事業方針に基づき、更なるサービスの高度化や新規需要の開拓に積極的に取り組み、業績の向上に努めてまいりました。

また、東日本大震災により、固定資産、棚卸資産等の被害を受け、見積もり計上を含め災害による損失を特別損失として計上しています。

以上により、当社グループの当中間期の連結経営成績は、売上高62,465百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益2,625百万円（前年同期比3.8%増）、経常利益2,672百万円（前年同期比0.9%増）、災害による損失471百万円、資産除去債務132百万円等の特別損失622百万円を計上したことにより、中間純利益1,150百万円（前年同期比17.0%減）となりました。

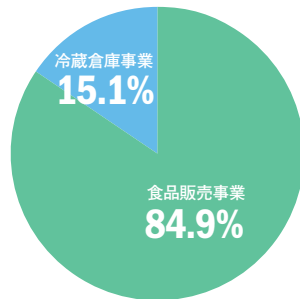
事業別売上高

当中間期（平成23年3月期）

売上高合計

62,451百万円

（注）その他事業収入14百万円を除く



通期の見直し

平成23年9月期の連結業績予想につきましては、東日本大震災及び福島原子力発電所の事故による、経済活動や消費動向に与える影響が懸念され、これらが当社グループの業績に与える影響が不透明であることから、「平成22年9月期 決算短信」（平成22年11月12日付）で公表した数値から変更はありません。

なお、当社グループの業績に重大な影響が見込まれる場合には、速やかに開示いたします。

通期連結業績予想

売上高	119,800百万円
営業利益	3,940百万円
経常利益	3,980百万円
当期純利益	1,830百万円
1株当たり当期純利益	35円36銭

事業別の概況

冷蔵倉庫事業

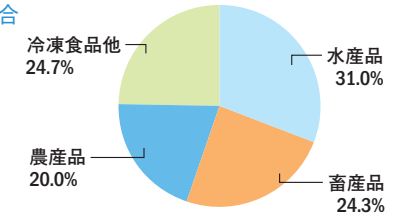
当中間期は、荷動きは徐々に持ち直してきましたが、顧客の物流コスト圧縮による在庫調整等が依然として続く環境下で、ブロック体制を軸とした収益重視の集荷活動を展開する一方で、作業効率改善等によるコスト削減に取り組んでまいりました。

入庫取扱量は前年同期に比べ約43千トンの増加となりましたが、平均保管在庫量は1.5%減少となりました。

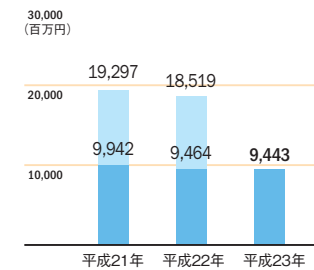
以上の結果、冷蔵倉庫事業の業績につきましては、売上高9,443百万円（前年同期比0.2%減）、営業利益は2,304百万円（前年同期比6.7%増）となりました。

また、第三次中期経営計画の重点施策である「投資によるヨコレイ品質の向上」に向けて建設中である北港物流センター（竣工予定平成23年7月）、新鹿兒島物流センター（仮称・竣工予定平成23年8月）、及びタイヨコレイ(株)のワンノイ物流センター（竣工予定平成23年9月）は、全て計画通りの竣工を予定しております。

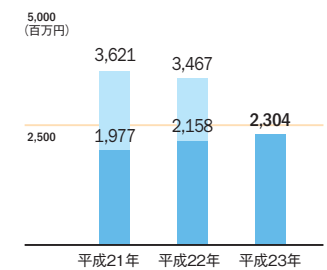
当中間期在庫量 品目別割合



売上高



営業利益



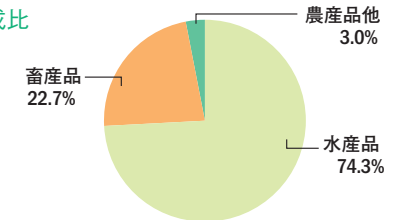
食品販売事業

当中間期は、国内消費需要の低迷が長引く環境下で、事業部制による徹底した在庫管理と利益率を重視した販売活動に取り組んでまいりました。特に水産品については連結子会社との連携による調達力の強化に注力し、原料サプライヤーとしての機能向上を図ってまいりました。

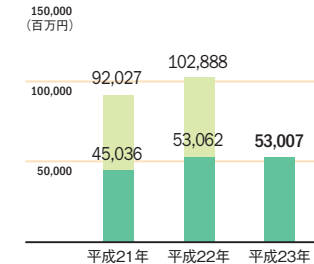
水産品について鮭鱒の不漁等のマイナス要因もありましたが、エビ、サバ等の主要品目を中心に売上高を伸ばし増収増益となり、畜産品は販売数量が減少しましたが利益率の改善により減収増益となりました。農産品は順調に推移し、増収増益となりました。

以上の結果、食品販売事業の業績につきましては、売上高53,007百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益は1,115百万円（前年同期比10.6%減）となりました。

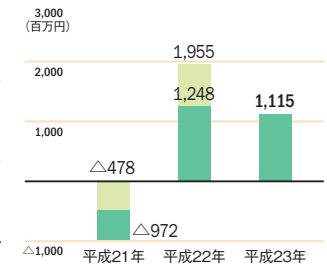
品目別 売上高構成比



売上高



営業利益



「欧州シーフード・エキスポ」

海外ネットワークを活用した販路の拡大を目指し、
世界最大規模のシーフード・イベントに出展しました

当社グループでは、中期経営計画において世界市場を視野に入れた事業展開、とりわけ海外ネットワークを活用した販路の拡大に注力しています。こうした観点から、平成23年5月3日から5日まで、世界有数の「食通の街」として知られるベルギー・ブリュッセルで開催された「欧州シーフード・エキスポ」に、日本の水産物をアピールすべく出展いたしました。

世界的規模で食料事情が大きく変わりつつある現在、当社はグループ経営という視点から、日本市場のみならず世界市場を視野に入れた事業活動に力を入れています。中でも、海外のネットワークを活用した販路の拡大に努めています。

こうした観点から、当社グループは、平成23年5月3日から5日まで、世界有数の「食通の街」として知られるベルギー・ブリュッセルで開催された「欧州シーフード・エキスポ」に出展いたしました。「欧州シーフード・エキスポ」は、世界最大規模を誇る魚食文化の祭典で、今回は81カ国1,678社が出展いたしました。出展内容も世界最大規模というだけあって、生鮮、冷凍食品、加工品、貯蔵、加工機械・関連装置、調味料・食品添加物、物流、サービスなど多岐にわたっています。なお、当社グループは、「欧州シーフード・エキスポ」に

European Seafood Exposition 2011

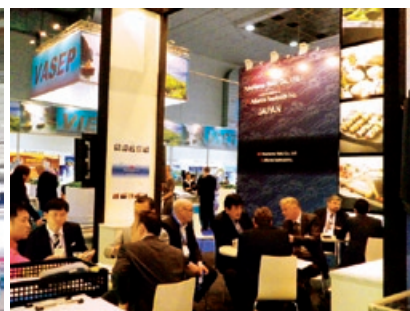


今回が初めての出展となります。

当社グループは、「輸出入の拡大」を目指し、「日本産水産物〈原料〉」を中心とした展示を行いました。展示会場では、初めての出展ということを考慮し、高さ6mの壁面に幅80cmの写真パネルを取り付け、遠くからでも当社グループの訴求ポイントが一目でわかるよう、ブースの展示に工夫を凝らしました。

開催期間中、70社あまりの既存取引先をはじめ、新たにコンタクトのあった140社を超えるお客さまが当社グループのブースを訪れ、活発な商談が行われました。このほか、商談にいらなかったお客さまも数多く訪れ、持参したパンフレットが足りなくなるほどの盛況ぶりでした。

また、当社グループが世界市場で事業展開を図るうえで必要となる市場のトレンドや最新技術の情報収集にも努め、有意義な活動を行うことができました。今後、今回の成果を精査しながら販売の拡大に注力し、世界市場を視野に入れた事業展開を積極的に推進してまいります。



現地メディアの取材の様子

水産原料部長をはじめ8名の出展スタッフ

ヨコレイくんが行く!

頑張るヨコレイ VOL.5

今回は、
通関業務の
現場を探検して
きたよ!



通関って、
どんな仕事をするのかな?

日本は外国から食材や食品を輸入したり、また外国へ輸出したりしているけど、その入口や出口で大切な仕事をしているのが通関業務なんだ。ヨコレイでは港のある神戸、大阪、福岡、横浜、東京の5事業所で通関業務を展開している。

食材や食品の輸出入には、実にたくさんの法令による許可や承認などが必要なんだけど、こうした手続きを進める仕事を総称して通関業務と呼んでいるんだ。関税を払えば何でも輸出入できるわけじゃない。日本の植物や家畜を守るために農林水産省が行う植物検疫や動物検疫、国民の健康な暮らしを守るため、食品添加物などのチェックをする厚生労働省への申請など、関係官庁の許可や承認などを受けていることを税関に

証明して、初めて輸出入することができる。

こうした複雑多岐にわたる手続きをスムーズに進めるのがヨコレイの通関チームなんだ。

貨物が到着！
通関チームの本領発揮

港に20フィート・コンテナ換算で8,000～9,000本も積める大型コンテナ船が到着したぞ。通関チームでは、コンテナ船が到着する

前から、船会社やコンテナヤード、保税蔵置場、通関業者、銀行など、さまざまな業種が参加するオンラインのNACCS（ナックス、輸出入・港湾関連情報処理システム）で、逐一、情報を入手し、輸出入の準備を進めている。輸入の場合、貨物が到着すると、直ちに植物検疫や動物検疫を受け、貨物の安全性が確認される。これと同時並行で厚生労働省への申請が行われ、税関で手続きが行われるんだ。この間、1～2日。扱う貨物が新鮮さが勝負の食材や食品だけに、時間との闘いだ。特に、緊急性の高い医薬品や食肉のチルド製品は24時間体制で通関に当たっているんだよ。

こうした通関業務に当たるのが通関士の仕事だ。通関士は財務省管轄の国家資格で、5年間の平均合格率が約10%というハードルの高い資格。ヨコレイには、この難関を突破した20人の通関士がいるから、お客さまも安心して仕事を頼めるわけなんだね。

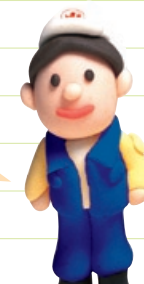


ヨコレイの通関業務、
ここが強み

ヨコレイでは、冷蔵倉庫事業の全国的なネットワークを活かし、輸出入貨物の通関や保管、取り扱い、配送までを一元的に管理し、スピーディかつタイムリーなサービスをお客さまに提供することができるんだ。ここが、ヨコレイの強みなんだ。スピードだけでなく、冷蔵倉庫事業で培ったノウハウを活かし、お客さまのニーズに最適な通関業務を提供できるプランニングやコンサルティングも手がけているんだよ。国民の安全・安心な食生活を守るためにも、ヨコレイにはもっと頑張ってもらいたいものだ。



ヨコレイならではの
プロの仕事が、
日本の食生活を支えて
いるんだね。
次回も楽しみにね。



中間連結財務諸表（要約）

中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目	期別	
	第64期中間期 平成23年3月31日現在	第63期中間期 平成22年3月31日現在
資産の部		
流動資産	36,529	31,817
固定資産	52,895	53,084
有形固定資産	44,943	44,279
無形固定資産	2,527	2,964
投資その他の資産	5,424	5,841
資産合計	89,425	84,902
負債の部		
流動負債	25,533	19,899
固定負債	7,091	8,519
負債合計	32,625	28,418
純資産の部		
株主資本	56,552	56,063
資本金	11,065	11,065
資本剰余金	11,109	11,109
利益剰余金	34,897	34,401
自己株式	△ 519	△ 512
評価・換算差額等	△ 131	124
その他有価証券評価差額金	36	270
繰延ヘッジ損益	△ 16	1
為替換算調整勘定	△ 151	△ 147
少数株主持分	379	296
純資産合計	56,799	56,484
負債純資産合計	89,425	84,902

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

科目	期別	
	第64期中間期 平成22年10月1日から 平成23年3月31日まで	第63期中間期 平成21年10月1日から 平成22年3月31日まで
売上高	62,465	62,544
売上原価	56,360	56,486
売上総利益	6,105	6,057
販売費及び一般管理費	3,480	3,528
営業利益	2,625	2,529
営業外収益	164	259
営業外費用	117	141
経常利益	2,672	2,646
特別利益	92	21
特別損失	622	83
税金等調整前中間純利益	2,142	2,585
法人税、住民税及び事業税	1,143	1,034
法人税等調整額	△ 168	118
少数株主損益調整前中間純利益	1,167	—
少数株主利益	17	46
中間純利益	1,150	1,386

中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科目	期別	
	第64期中間期 平成22年10月1日から 平成23年3月31日まで	第63期中間期 平成21年10月1日から 平成22年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 3,263	△ 2,997
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,373	△ 1,759
財務活動による キャッシュ・フロー	5,320	3,903
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△ 1	△ 2
現金及び現金同等物の 増減額	681	△ 856
現金及び現金同等物の 期首残高	3,877	5,194
現金及び現金同等物の 中間期末残高	4,559	4,337

株式の状況（平成23年3月31日現在）

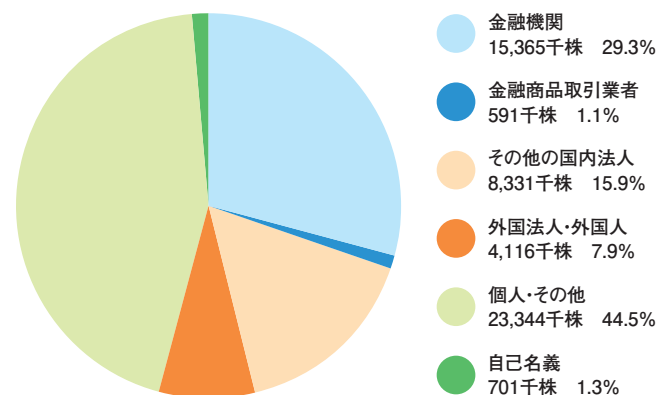
発行可能株式総数	160,000,000株
発行済株式の総数	52,450,969株
株主数	14,826名

大株主（上位10名）

大株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
第一生命保険株式会社	3,105	6.00
株式会社横浜銀行	2,176	4.21
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,001	3.87
農林中央金庫	1,473	2.85
株式会社八丁幸	1,411	2.73
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1,144	2.21
横浜冷凍従業員持株会	1,109	2.14
株式会社サカタのタネ	1,022	1.97
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	952	1.84
横浜振興株式会社	892	1.72

（注）持株比率は自己株式（701,588株）を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



ネットワーク (平成23年3月31日現在)

●冷蔵倉庫事業

全国 **39** 拠点

●食品販売事業

全国 **21** 拠点

●海外拠点

■バンコク駐在員事務所

●連結子会社

- 株式会社アライアンスシーフーズ
- 株式会社クローバートレーディング
- Thai Yokorei Co., Ltd. (タイ)

会社概要 (平成23年3月31日現在)

会社名 横浜冷凍株式会社
 本社所在地 〒220-0022
 横浜市西区花咲町六丁目145番地
 横浜花咲ビル7階
 TEL : 045-326-1010(代表)
 FAX : 045-326-1145

設立 昭和23年5月13日
 資本金 11,065,926,625円
 従業員数 938名
 業務内容

- 1.冷蔵倉庫業並びに普通倉庫業
- 2.水産品の加工、販売並びに輸出入
- 3.農畜産物の加工、販売並びに輸出入
- 4.不動産賃貸業
- 5.通関業
- 6.貨物運送取扱事業並びに貨物自動車運送事業
- 7.食堂及び喫茶店の経営並びに飲食物の販売
- 8.その他前各号に付帯関連する一切の事業
 (定款における事業目的)

役員及び執行役員 (平成23年3月31日現在)

代表取締役社長	吉川俊雄
専務取締役	小林健次
取締役 常務執行役員	水野隆明
取締役 常務執行役員	岩渕文雄
取締役 常務執行役員	中西啓文
取締役 執行役員	飯島敏正
取締役 執行役員	西山敏彦
取締役 執行役員	大久保孝一
取締役 執行役員	井上祐司
常勤監査役	吉橋伊知男
常勤監査役	平野順三
監査役 (独立)	棚橋栄蔵
監査役	西元徹也
執行役員	笹崎等
執行役員	安達徹
執行役員	岩倉正人
執行役員	越智孝次
執行役員	畑山敬二
執行役員	千田重賢
執行役員	竹村文男

東日本大震災により被害を受けた主な拠点の状況について (平成23年5月20日現在)

冷蔵倉庫事業拠点

●仙台物流センター (宮城県仙台市)

津波の影響を受け、事務所棟、冷蔵倉庫棟1階部分及び冷凍機等の設備が損傷いたしました。現在も全力をあげて設備の速やかな復旧を進めており、業務については5月から一部を再開し、6月中には全面再開を目指しています。

●気仙沼冷凍工場 (宮城県気仙沼市)

津波の影響を受け、建物及び冷凍機等の一部設備が損傷いたしました。当地区は津波による被害が大きく、周辺の道路事情や電気・ガス等の周辺インフラの復旧にあわせ、業務再開に向けた作業を進めています。

食品販売事業拠点

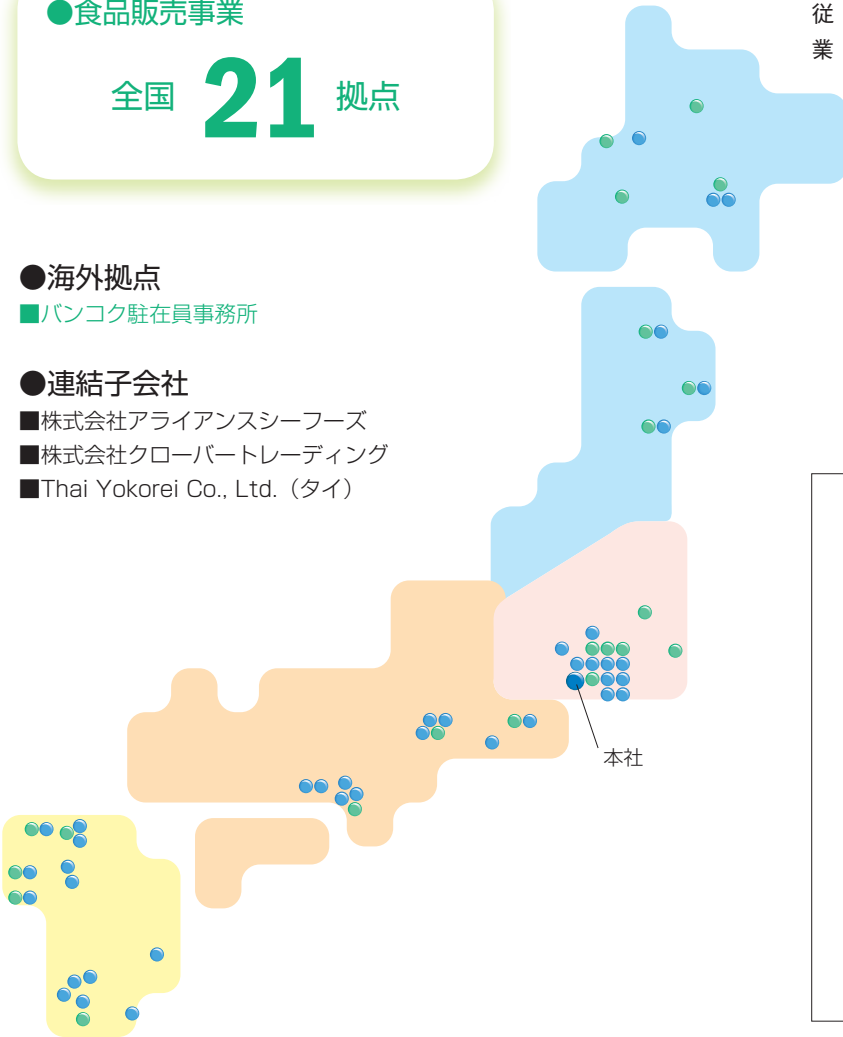
●東北水産事業部 (宮城県仙台市)

●東北水産事業部気仙沼営業所 (宮城県気仙沼市)

●東北水産事業部八戸営業所 (青森県八戸市)

●水産原料部茨城営業所 (茨城県東茨城郡)

震災による被害状況は軽微であり、業務を再開しております。



株主メモ

事業年度 10月1日より翌年9月30日まで

定時株主総会 12月

基準日 定時株主総会の議決権 9月30日

剰余金の期末配当 9月30日

剰余金の中間配当 3月31日

その他必要があるときは、あらかじめ公告した日

公告の方法 電子公告

※電子公告は当社ホームページに掲載します。なお、やむを得ない場合は日本経済新聞に掲載します。

<http://www.yokorei.co.jp/investors/investors/electronic-public-notice/>

単元株式数 100株

上場取引所 東京証券取引所(第1部)

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電話:0120-232-711(フリーダイヤル)

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご紹介

<http://www.yokorei.co.jp/>

ヨコレイのホームページでは当社の最新ニュースや事業紹介に加え、IR情報が一目でわかるIR情報インデックスや財務ハイライトなど、個人投資家の皆さまに当社を深くご理解いただけるよう、様々なコンテンツを掲載しております。

また、環境方針やグリーン経営などの環境への取り組みをご紹介します。

ヨコレイでは、今後も更にわかりやすく、充実したホームページを目指してまいります。



株主の皆さまの声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、

アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、

アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を贈呈させていただきます



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 2874

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、
いいかぶと4文字入れて検索してください。



空メールにより URL自動返信 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、
右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツーメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

横浜冷凍株式会社

〒220-0022 横浜市西区花咲町六丁目145番地 横浜花咲ビル7階